

1 審議会名	上田市総合計画審議会（第5回行財政部会）
2 日時	令和2年2月18日 午後3時20分から午後4時15分まで
3 会場	市役所本庁舎 6階 大会議室
4 出席者	山極一雄部会長、浦部秀幸副部会長、安藤健二委員、小熊弘子委員、 小駒はるみ委員、小池文彦委員、重野靖委員、中村彰委員、丸山理英子委員
5 市側出席者	柳原政策企画部長、中村総務部長、山口財政部長、小宮山市民まちづくり推進部長、 竹花丸子地域自治センター長、山崎真田地域自治センター長、 石井武石地域自治センター長、小野沢総務課長、北沢秘書課長、 鳴澤政策企画課企画調整政策幹、清住広報シティプロモーション課長、 小林行政管理課長、小林庁舎整備室長、池田情報システム課長、 倉島財政課長、唐澤財産活用課長、依田契約検査課長、林税務課長、 小林収納管理課長、宮澤市民参加・協働推進課長、佐藤人権男女共生課長、 清水市民課長、羽毛田豊殿地域自治センター長、小林塩田地域自治センター長、 宮下川西地域自治センター長、滝沢丸子地域振興課長、 塚田真田地域振興課長、金子武石地域振興課長、 西嶋生涯学習・文化財課人権同和教育政策幹、横沢総務課給与厚生担当係長、 堀内財政課財政担当係長、伊藤市民参加・協働推進課地域内分権推進担当係長、 百瀬移住交流推進課移住定住推進担当係長、金井丸子地域振興課地域政策担当係長、 宮崎真田地域振興課地域政策担当係長、坂部武石地域振興課地域政策担当係長、 藤森総務課主任、中山政策企画課政策企画担当係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年2月20日
協 議 事 項 等	
1 開 会（総務部長）	
2 議事	
(1) 会議概要の確認について（説明：総務課長）	変更点や意見なし。
(2) 後期まちづくり計画(案)について（訂正箇所の説明：市民参加・協働推進課長）	
【意見、質問】	
(委員)	「1-2-3 外国籍市民の自立と社会参加による多文化共生社会の実現」について、共生につなげていくため、外国籍市民が日本語、日本の文化や習慣を学べる場として、プレスクールや夜間学校等を設置することなどを具体的に計画に記載してはどうか。
(事務局)	語学学習は教育委員会と連携して進めていく必要があるので、教育委員会と再度調整したいと考える。
(委員)	「1-2-2 女性と男性が互いに尊重しあい、個性と能力を充分発揮できる社会の実現」の達成度をはかる指標・目標値のうち、「男女共同参画社会の実現に対する市民満足度」について、理想を求めているので目標値が低くなることは理解できる。しかしながら、満足度に対する評価は評価する人により差異が大きいため、指標として記載することには疑問が残る。科学的根拠のあるデータを計画に掲げたほうがよいと考える。
(事務局)	市民満足度については、指標の推移を検証し、意識の改善につなげていくためにも計画の指標としたいと考える。
(委員)	市民満足度について、市民意識の改善状況を確認するための指標として活用することは理解できる。市民満足度の向上を図る取組について、計画に記載したほうがよいと考える。

- (事務局) 再度検討する。
- (委員) もう一つの指標である「審議会など委員に占める女性の割合」は、目標値を 50%以上にしているかどうか。
- (事務局) 審議会などの委員については、女性の割合を 40%以上にすることを目標に選考している。選考は団体推薦、個人依頼、公募の区分で行っており、関係団体からは男性の推薦が多い。50%は理想的な目標であるが、選考の過程から一部の審議会では目標を達成することは困難であると考えている。
- (委員) 「1-1-2 地域内分権による地域の自治の推進」について、わがまち魅力アップ応援事業の件数等に替えて、効果を検証した調査結果があれば、それを計画に記載してはどうか。
- (事務局) 本補助事業を活用した団体に対して、アンケートを実施するとともに、担当職員が関係者と意見交換する機会を設けている。事例集の作成や地域協議会における事例発表により、活動実績や成果なども公表している。計画に記載する資料については再度検討する。
- (委員) より適切な内容となるよう表現の修正について検討をお願いしたい。
 具体的には、「1-1-1 参加と協働による自治の推進」について、施策の方向性・展開の基本施策 1 の①の上から 2 つ目の・中、「市民、地域コミュニティ（自治会など）」は、次節の現状と課題に記載の「自治会や市民活動団体などの地域コミュニティ」という表現に統一してはどうか。また、「②自立した地域コミュニティ活動の強化」は「②自主的な地域コミュニティ活動の強化」に、③の上から 2 つ目の・中、「人生を豊かに学ぶ取組」は「豊かな人生とする取組」にしてはどうか。
 「1-1-2 地域内分権による地域の自治の推進」について、現状と課題の上から 5 つ目の・中、「代表者個人の責任回避」は「代表者個人のリスク回避」にしてはどうか。
 「1-2-2 女性と男性が互いに尊重しあい、個性と能力を充分発揮できる社会の実現」について、現状と課題の上から 7 つ目の・中、「違う方向から物事を見るといった発想の転換ができる、」のあとに「すなわち」を挿入すると前後の意味合いが明確になる。また、「上田市」は「行政」に表現を統一し、「その男女共同参画事業」の「その」は削除してもよいと考える。施策の方向性・展開の基本施策 1 の②の最初の・中、「個人として」は「全ての人が」としたほうがわかりやすいと考える。
 「1-2-3 外国籍市民の自立と社会参加による多文化共生社会の実現」について、現状と課題の上から 3 つ目の・中、「外国人」は「外国籍市民」に、達成度をはかる指標・目標値の上から 3 つ目の「外国籍住民」は「外国籍市民」に表現を統一してはどうか。また、基本施策 1 の②の最初の・中、「対応できる職員のレベル確保」は「対応できる職員のレベルアップ」に、③の 2 つ目の・中、「AMU の特に」の「特に」は削除、異文化の理解は外国人と日本人の双方で深める必要があることから、「地域で生活する外国人や異文化に対する市民の理解」は「外国人と日本人の異文化に対する理解」にしてはどうか。
 「1-3-1 行財政改革の推進と住民サービスの充実」について、施策の方向性・展開の基本施策 4 の①の上から 4 つ目の・中、「財務状況全般」は「財政状況全般」のほうが適切であると考える。
- (委員) 「1-1-2 地域内分権による地域の自治の推進」において、「協働」と「協力」はどのように使い分けているのか。
- (事務局) 行政と市民団体が一緒に活動する場合を「協働」、市民団体同士が連携や活動する場合を「協力」としている。
- (委員) 「1-2-1 一人ひとりの人権が尊重される社会の実現」において、人権イメージキャラクターの掲載に当たり、必要な手続等を確認しておいたほうがよいと思う。
- (事務局) 再度確認する。
- (委員) 「1-1-1 参加と協働による自治の推進」の説明書きの「地域住民や各種団体、住民自治組織」について、各種団体の中に自治会は含まれていると考えてよいか。
- (事務局) 含まれていると考えている。表現については再度検討する。
- (委員) 「1-1-2 地域内分権による地域の自治の推進」について、「住民自治組織の法人化」を指

標・目標値としているので、法人化を進める取組を計画に記載してはどうか。

(事務局) ご指摘のとおり記載を検討する。

(委員) 現在検討が進められているまちづくりを支援する新たな助成制度の対象者については、どのように考えているのか。

(事務局) 5人以上で構成する市民活動団体で、全市域または広範囲の地域において活動する団体を対象とすることを検討している。補助上限額は30万円とし、県の元気づくり支援金制度の対象にならない団体を対象にしたいと考えている。自治会連合会や自治会の活動は補助対象にしない方向で検討しており、これら活動は住民自治組織の活動として取り組んでいただきたいと考えている。

(委員) 住民自治組織がない地域はどうすればいいのか。

(事務局) 現在、住民自治組織がない地域については、担当職員を中心として、設立に向けた調整を進めているところである。

(委員) 県の元気づくり支援金制度の申請において、県と市は連携を図っているのか。

(委員) 申請に当たっての助言をはじめ、申請時のとりまとめなどを市に依頼している。申請後は、県の担当者が申請者に事業内容の確認等を直接行っている。県から市に対しては、申請者の活動状況や申請事業が地域づくりに寄与するかなどについて意見を求めている。

(委員) 「1-1-2 地域内分権による地域の自治の推進」の達成度をはかる指標・目標値として、住民自治組織の法人化を掲げているが、住民自治組織のあり方が確立しておらず、法人化するメリットやデメリットも整理できていない中では、目標値にそぐわないと考える。逆に、法人化にメリットがあるのであれば、もう少し高い目標値にしてもよいと考える。

(事務局) 現在法人化を検討している団体は、メリットとデメリットを把握した上で法人化を進めている。他市の事例では、自主的に法人化をすすめている団体もある。法人化数は地域内分権を図る指標の一つであると考えているが、再度検討する。

(3) その他

中間答申案の最終調整は、部会長と事務局に一任。

3 事務連絡

○ 中間答申について

日時：令和2年3月13日（金）午前11時00分

場所：上田市役所本庁舎3階 第1応接室

○ 第6回部会について

日時：令和2年5月29日（金）午後1時30分

場所：上田市役所本庁舎6階 大会議室

4 閉会（総務部長）